地域座談会（中北条地区）　意見交換記録

と　き　　平成２１年５月１４日（木曜日）
　　午後７時から午後９時１５分
ところ　　北栄町中央公民館２階講堂
参加者　　１３人

番号	項　目	町民等からの意見等要旨	町からの発言要旨
1	健康づくり事業について	●全部（全体）の項目は取り組みにくい。北栄町で特徴のある部分で何かに絞って取り組んではどうか。高血圧は万病のもとであり、高血圧に特化して取り組んではどうか。取り組みの成果として医療費、介護費の減額が見込まれるのではないか。町で特化し集中して取り組むことで住民も取り組みやすいし効果も上がると思う。	●高血圧は、心疾患、脳血栓の要因であります。また、放っておけば糖尿病となる方が多くいる。特に成人に対する高血圧への取り組みをしたい。
		●病気は生活の中から改善していく必要がある。特に食の改善を幼少のころから取り組むべきである。	●若年の食生活は重要であり、現状では食生活の改善に取り組むことは必要である。現在では、小・中学校の給食により食育の取り組みを進めている。町全体では取り組みにくい点もあるため、ぜひ自治会で取り組んでほしい。
		●チャレンジデーが廃止となったが、他の自治会の取り組みは気になるもの。そこで、自治会単位での活動を評価できるようにすることで意識改革につなげ活用してはどうか。	●自治会ごとで評価することはたしかにお互いライバル視し意識が高揚すると思われる。取り組みのヒントとしたい。
		●自治会で取り組むことは、地域での推進もしやすくなり、よい面で取り組めば住民に帰って来ると思う。	
		●高血圧対策の推進で各自治会「いきいき健康講座」があるが、講師の派遣は平日でないとダメだと聞いたがどうか。自治会では防災、人権、環境と取り組んできたが、今度は健康に取り組みたい。	●可能な限り土曜日・日曜日の開催にも対応したい。

	（要望）	自治会の行事は休日でないと取り組めない。ぜひ日曜日に開催することとしてほしい。 ●講師はどういう方が来られるのか。	●講師は町の保健師等で対応しているが、外部からの講師派遣があるか確認したい。
2	北栄町の舵取りについて	●合併後、北栄町として一つの目標に進んでいるが、住民目線で大栄・北条の壁がある。町民が合併後早い段階で一つの意識、方向性を持って取り組んでいく必要があるのではないか。 ●今後、大栄方式、北条方式にとらわれず、北栄流で引っ張っていくことが必要ではないか。これでは思いが町民に伝わらない。方向性をリーダーシップで引っ張っていく必要がある。各種事業、議員でも大栄方式、北条方式の流儀が現れているのが現状である。これでは合併してもいつまでも変わらない。	●具体的な切り口を考え、実施していきたい。 ●　施策の方針、決定、執行において大栄、北条と考えてはいない。今後も北栄町方式で取り組んでいきたい。
3	コナン事業について	●コナンのビジョンが見えて来ない。ゴールデンウィークには山陰に人が流れてきていた。コナンのビジョン、方向性、ふるさと館とコナンロードの整備ビジョンを考えてはどうか。	●ふるさと館入館者はゴールデンウィークには昨年より若干の増であった。実際には入り口まで客が来ているが入館料ベースでは微増にとどまっている。 「コナンの里づくり」の目標は、境港市の水木しげるロードのようになることである。「コナン通り」や拠点施設である「青山剛昌ふるさと館」を整備したが、民間による飲食、物販施設等の整備がなかなか進まないのが悩みである。 　現段階では、免許試験場跡地の活用として駐車場、トイレを計画。 　また、商工会において物販施設の設置を予定している。これにあわせて由良宿商店街への集客もし

		●コナン通りの街路樹について、現在あまり大きくならない「ヤマモモ」の木が植えてあるが、大きくなる「ケヤキ」に変更するなどして、通りに木陰をつくってはどうか。	ていきたい。さらには、ふるさと納税の予算を活用しブロンズ像１基を整備する予定である。 ●過去に図書館前の街路樹でけがをされた方がおられ、街路樹を管理する鳥取県が目線の高さにある枝木をすべて切ってしまった経過があるが、今後鳥取県等に要望してみたい。